

教員養成フラッグシップ大学 ヒアリング審査 【追加調書】

大学名：北海道教育大学

テーマ：「令和の日本型学校教育」に対応した“実践”と“理論”のスパイラル型教職
コアカリキュラムの構築ー“探究的・省察的实践家”としての教員の養成ー

概要：子どもの「主体的・対話的で深い学び」をファシリテートし、「個別最適な学
び」と「協働的学び」の実践により学習者中心の学びを牽引する力を持った教師
を養成するため、これまでの教育職員免許法施行規則にとらわれない学部教育課
程改革として、省察力と学び続ける姿勢を涵養する「“実践”と“理論”のスパ
イラル型教職コアカリキュラム」を構築し、「令和の日本型学校教育」を担う新
たな教師像である「探究的・省察的实践家」を養成する。

構想において取り組む重点テーマ

(教員養成フラッグシップ大学公募要領より抜粋)

- ①学習者中心の授業デザイン・学習活動デザインについての理解増進,
ファシリテーターとしての教師の役割についての意識向上
- ②教育学や教師教育学, 学習科学に基づく省察的实践(仮説設定, 教育実践, 省察)
を通じて学び続ける教師としての意識・態度の育成
- ③学習者中心の視点に立った教職科目体系の見直し(教科専門を含む)
- ④教師・保護者・地域・専門家等と協働する態度や, 協働できる環境を整える組織
マネジメントの資質・能力の育成
- ⑤学校現場における教育データサイエンスの活用やSTEAM教育を先導する人材の
育成
- ⑥障害のある児童生徒, 外国人児童生徒, 不登校, 経済的に困難な家庭の児童生徒,
特定分野に特異な才能のある児童生徒等, 多様な子供への理解・対応力
- ⑦学部と教職大学院の一体的な教員養成カリキュラムの検討, 現職教員研修
(教員育成指標)との連携の在り方の検討

フラッグシップ大学の特例を用いて新規追加する科目名, 単位数, 対象学年, 科目概要

学部 / 大学院	科目名	単位数	対象学年	科目概要
学部	教育フィールド研究Ⅰ	2単位	1年次	本科目では, 平易な周辺の参加として, 教育環境支援, 学校行事事前準備と当日支援, 子どもとの触れ合い, 授業観察, 子ども個別支援, 学級活動支援などを行う。これにより, 教職意欲を高め, 学校教育活動の全体像や教師の実践的な役割を把握すること, および, 今後の理論的内容の学習の必要性を自覚させることを目的とする。(必修科目)

学部	学校教育実践 開発論I	1単位	1年次	本科目では、「教育フィールド研究Ⅰ」の活動を省察することを通じて、実践と理論を往還しながら省察的実践家の基礎を養うことを目的とする。この省察活動は、単なる失敗の反省に留まるものではなく、学生が、実践の中からの気づきを得て理論の重要性を認識できるようにする。なお、省察活動には「教育実践力向上CBT」の問題も活用する。（必修科目）
学部	PBL型授業研究I	1単位	1年次	本科目では、未知の課題に立ち向かう探究力と具体的な思考・分析方法の基礎を身につけるため、基本的なロジカルシンキング法を学ぶ。また、課題発見-仮説設定-調査分析-整理-結論-発表-評価といった一連の探究的な学習方法と思考方法の基礎を学ぶ。具体的には、グループワークによって、与えられた課題について、その課題解決に向けた取り組みを行う。（必修科目）
学部	ファシリテーション論	1単位	1年次	本科目では、課題解決に向けた子ども達の主体的で協働的な学習活動を促進するファシリテーションの方法をグループワーク等の具体的な方法を通じて学ぶ。また、様々な授業や学級経営等の教育活動全てにおいてそれを活用できるよう、基本的な指導理念と指導方法を身につける。（必修科目）
学部	子どもの理解と支援	1単位	1年次	本科目では、基本的な教師の資質能力として、校種・教科を超えて求められる「子ども理解」の方法と「教育的愛情」及び「子ども支援」のあり方への認識を深める。その上で、発達障がいのある子ども、不登校や経済的に困難な家庭の児童生徒など多様な子どもに対してどのように指導・支援を行っていくのかを事例研究を通じて学ぶ。（選択科目）
学部	教育フィールド研究Ⅱ	2単位	2年次	本科目では、「教育フィールド研究Ⅰ」での学びをより高度で中心的な教育活動、すなわち授業支援・学級活動支援へと移行する。具体的には、授業補助、学級活動補助、特別支援を要する児童・生徒への補助、単元教材計画、模擬授業計画と指導案作成、などを行う。教師としての指導的立場に段階的に移行することで、実践的意識や指導力を高めていくと共に、大学の理論的講義とも往還的に学ぶ。（必修科目）
学部	基礎実習	1単位	2年次	本科目では、「教育実習Ⅰ」に繋がる実習として、授業観察等を踏まえ、子どものつまずきを把握するとともに、復元指導案作成や模擬授業等を通じて、教材作成力や授業構想力の基礎を培う。（必修科目）

学部	へき地・小規模校体験実習 I	2 単位	2 年次	本科目では、へき地・小規模校で少人数の子どもと接する実習を通じて、個々の子どもへの触れ合いを通して子どもを理解するとともに、少人数指導方法・地域連携活動等のへき地教育指導方法の基礎を学ぶ。具体的には、夏休みに1週間のへき地実習を行う。この中で、へき地の教師の役割への体験的理解、地域との関係づくり、地域学校行事への参加、複式授業観察、などを行う。（選択科目）
学部	学校教育実践開発論 II	1 単位	2 年次	本科目では、「教育フィールド研究 II」「基礎実習」の活動に対する協働的なリフレクションを通じて、授業づくりの土台にある児童・生徒理解や学級経営、あるいは授業観察から得られた授業の実践者が持つ授業観・教材観への気づきを引き出す。その気づきを理論と結びつけ、次の行為の具体的な選択肢を増やすことで、理論の有用性を実感し、教職への体験的理解を深める。なお、省察活動には「教育実践力向上CBT」の問題も活用する。（必修科目）
学部	PBL 型 授業研究 II	1 単位	2 年次	本科目では、探究的思考方法を深めたり特定の専門分野を対象にした探究活動を深めたりする。 具体的には、教育課題を含むテーマから課題を発見し、その解決策を導く探究活動を行う。さらに、調査分析手法を実践的に学ぶだけでなく、自分たちが行った探究を元に教員になった際の探究活動の指導計画を作成する。（必修科目）
学部	総合的な学習指導論	1 単位	2 年次	本科目では、「総合的な学習の時間」において、教師として子ども達に適切な指導・アドバイスを行う資質能力を高めることを目的とする。そのため、基本的な調査・分析等の方法論を学生自身が身に付け、どのようにアドバイスをしながら子どもたちに内発的動機づけをしていくかを実践的に学ぶ。（選択科目）
学部	協働的学級経営実践論	1 単位	2 年次	本科目は、「令和の日本型学校教育」において重要な課題として指摘されている協働性を学ぶためのものである。具体的には、一般的な学級経営に加えて、協働的な人間関係づくりを柱とした協働的学級経営の考え方と方法を身につける。（選択科目）
学部	コミュニティスクール実践論	1 単位	2 年次	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正が行われたことを受け、本科目では、コミュニティ・スクールの運営方法、地域ボランティア等の地域人材との連携方法、地域探究活動を進める上での地域素材の発掘方法、社会教育施設・行政との連携方法など、地域リソースの活用方法等を学ぶ。（必修科目）

学部	チーム学校論	1単位	2年次	本科目では、チームとしての協働性を高める学校運営の理念及び方法を会得するため、学校内の校務分掌や学校経営、協働性を発揮した教育活動、及び学校と地域の専門家等との連携活動等について具体的に学び、チームで教育活動を推進できる教師の資質能力を育成する。(選択科目)
学部	教育フィールド研究Ⅲ	2単位	3年次	本科目は、学校外の子どもの関わりを通じて子ども理解を深めることを目的とする。具体的には、科学館、博物館、動物園、児童館等における子どもを対象とした支援活動、あるいは子どもを対象とした活動(各種体験活動等)の学生自身による企画・運営を行う。(選択科目)
学部	教育フィールド研究Ⅳ	2単位	3年次	本科目は、3年次の教育実習と連動させながら実践的な活動を継続的に展開することで、教育実践に関する課題意識を高めることを目的とする。教育実習では、教科指導を中心に学ぶが、この科目ではさらに「総合的な学習の時間」「道德教育」「特別活動」「学級経営」を含めた学校教員の総合的な役割を学ぶ。(選択科目)
学部	へき地・小規模校体験実習Ⅱ	2単位	3年次	本科目では、へき地校での学級経営方法や少人数授業指導方法を学び、へき地小規模校での即戦力となる資質・能力を養うことを目的とする。具体的には、へき地の学校や教師の指導の在り方、へき地の子どもたちの特性に応じた指導、複式学級指導、複式教育への理解、学校が地域に果たす役割など、学校と地域の連携も含めた教育の現状を実践的に理解する。(選択科目)
学部	学校臨床研究	2単位	3年次	本科目では、附属学校・拠点校・小規模校での授業を双方向遠隔授業システムやビデオで参観し、教育実習等で自覚した授業実践上の課題や新たに見つけた課題の解決を目指した省察活動を通して、授業観察力・授業分析力・授業運営力・学級経営力・生徒指導力等、実践に必要な能力の一層の伸長を図る。なお、省察活動には「教育実践力向上CBT」の問題も活用する。(必修科目)
学部	カリキュラムマネジメント論	1単位	3年次	本科目では、教科を超えた単元間、教科と地域、総合的な学習と教科、等の様々な知識やリソースを結びつけて学習活動を推進するカリキュラムマネジメントの理念と手法を学ぶ。(選択科目)

学部	へき地・小規模校教育実践論	1単位	3年次	<p>本科目では、へき地・小規模校での実践的特徴である、少人数指導や異年齢集団指導、地域学校経営の特質を生かした学習指導・学級経営等のへき地・小規模校の指導実践方法、学校と地域の連携及び組織マネジメントを学ぶ。これを通じて、個別最適な学び、協働的な学びを柱とした「令和の日本型学校教育」を推進する力を身につける。 (選択科目)</p>
学部	ICT教育実践活用論	1単位	3年次	<p>本科目では、授業・学習活動や生活指導・学級経営等の様々な場面において教師として必要なICT活用方法を身につける。具体的には、デジタル教科書、双方向遠隔授業システム、タブレット端末、電子黒板、などを効果的に活用して「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に実践する力を育成する。(必修科目)</p>